

大和田駅前広場社会実験 チャレンジ大和田 実施レポート

社会実験の概要

● チャレンジ大和田とは ●

大和田駅前を今後どのように魅力的にしていけるか、地域の人々が「まちづくりを考えるきっかけ」となることを目的とした社会実験（チャレンジ）です。
企画や出店、出演など、大和田駅周辺に関わる様々な関係者の皆さまのご協力のもと実施されました。



開催日時 2024年11月15日（金）10:00～20:00
2024年11月16日（土）10:00～16:00

会場 京阪大和田駅 南側用地および北側駅前広場

協力者 大和田にゆかりのある地元有志の皆さま



● 目的・コンセプト ●

CHALLENGE OWADA チャレンジ大和田

- 組織** 地元連携組織で、日常やイベント等で広場を使っていけるかを検証
- 交流** 空間やコンテンツの仕掛けによって南北の行き来が生まれるかを検証
- 滞留** 滞留の空間や仕掛けがあったら、本当に人が滞留するかを検証
- 安全** ひとの広場が出来たときに、安全性に課題が生じるかを検証

● 大和田駅前広場づくり 全体の流れ ●

今後、大和田駅前（南側・北側）の広場整備を具体的に計画していくとともに、駅周辺における連携など、大和田にとって良いまちづくりのあり方を検討していきます。

今ここ

ワークショップ、社会実験
広場の構想づくり

まずおためしでやってみる

仮説と検証を積み重ねる

広場の設計・整備・供用

継続的に取り組んでいく

当日の様子

このほか、キッチンカーや物販ブース、ステージイベントなど、様々なプログラムが実施されました。

- ラジオ体操
- ハイハイレース
- 大阪国際大学 公開授業



- ハンドドリップチャンピオンシップ
- 飲食ブース
- DJ ライブショー



- モニュメントボード
- スタンプラリー



- 滞留空間（北側）



- パトカー・白バイ体験
- 滞留空間（南側）
- 公開地元ディスカッション



地元有志事前ミーティング

大和田にゆかりのある地元有志の方々と一緒に、社会実験のプログラムや運営について話し合う事前ミーティングを全4回行いました。

● ミーティングの様子 ●



お集まりいただいた有志メンバーの皆さま
ありがとうございました！



実験の結果

〈来場者数〉

- 来場者の数を計測するため、1時間ごとに会場内の様子を撮影し、その写真を用いて来場者数をカウントしました。
- また、特製ステッカーを場内で配布し、その配布枚数でもカウントをしました。
- その結果、15日には約1000人、16日には約940人が来場され、2日間の合計来場者数は約1940人と推計されます。

2日間の来場者数
約 **1940** 人

- 南北両方のエリアを往来するスタンプラリーは、2日間の合計で約150人が参加されました。

スタンプラリーの参加者数
約 **150** 人

● 来場された皆さまの声 ●

子供と楽しく遊ぶ
ことができた

いろいろな世代の
方がいて雰囲気
良かった

大和田に来たときは
あまり人が立ち止まるイメージが
なかったが、場所さえあればこれ
だけの人が立ち止まって集まってい
るというイメージが変わった

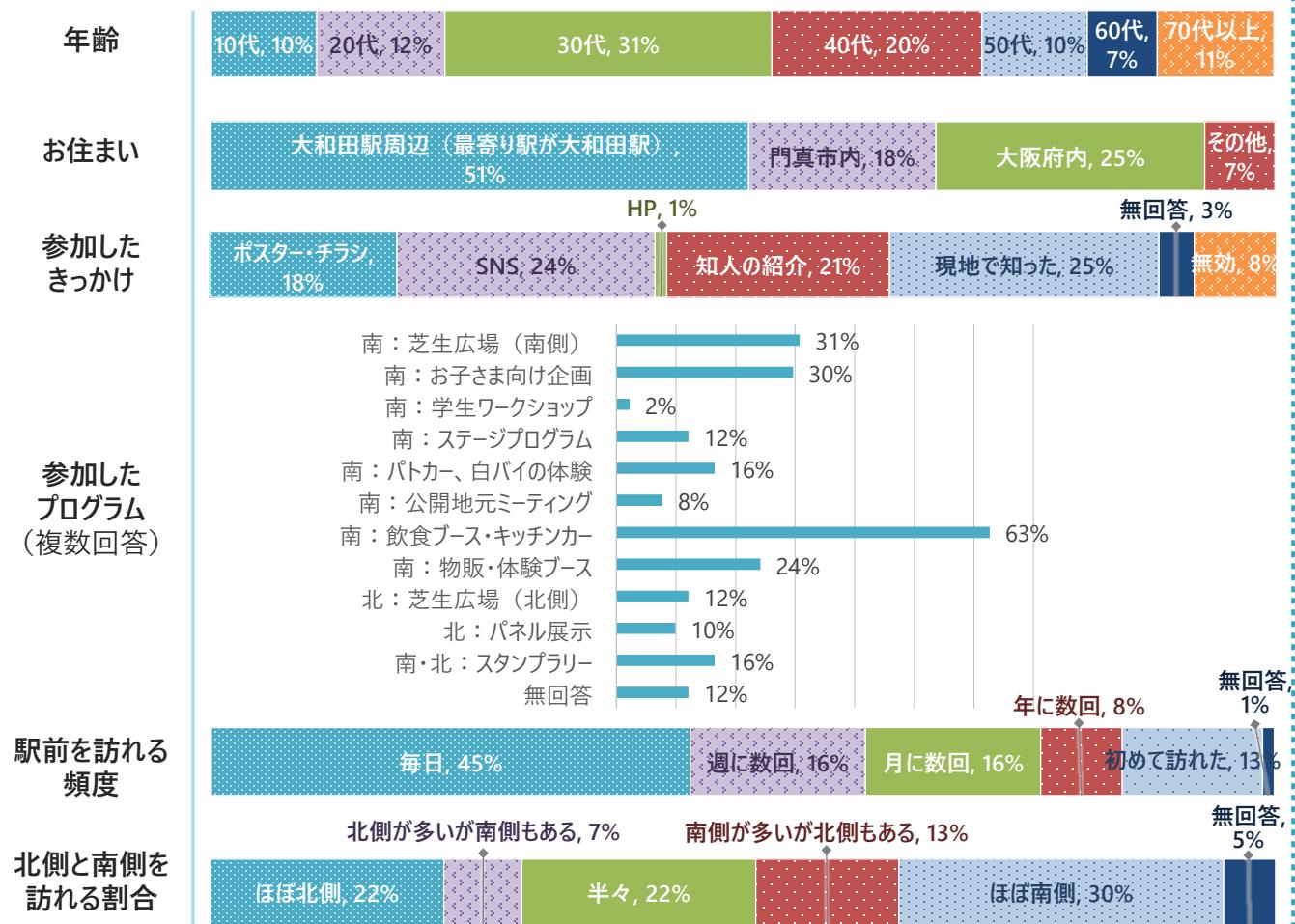
ステージ、出店共ににぎわっ
ており、地域の方々の地域
に対する愛着や地域力を
感じる事ができた

地元の飲食店やお店の方
があたたかくて、ほっこりする
まちだと思った

知らないお店を
発見できた

大和田でこうい
うイベントができて
うれしい

〈会場内でのアンケート調査 (n=91)〉



大和田駅前広場で課題だと感じること

北側広場

- 階段があり、南側へ自転車で行き来しにくい。
- 道が狭い。・路駐が多い。
- 車通りが多くグリーンベルトがない。
- 自然がもっとほしい。・休憩できない。
- 治安が悪い。・たばこのポイ捨て、ゴミが多い。
- まわりも合わせて何があるのかわかりにくい。
- 駐輪場をすっきりさせたい。お酒を飲む人がたまらないようにしてほしい。・駐輪場の屋根がない。
- にぎわいのイメージがない。・楽しいお店が少ない。

南側広場

- 階段があり、北側へ自転車で行き来しにくい。
- 芝生は道が近くてあぶない。遊具も少ないので子どもを遊ばせられない。
- 広場に向かう道に信号がない。・歩道がせまい。
- 道路で駅前と広場が分断されている。
- 広場に日陰がない。
- カフェやお茶ができるスペース、ゆっくり過ごせる場がない。
- 駅前が薄暗い。・昼はいいが夜は治安面で不安。
- ゴミや騒音など、一部マナーに問題あり。

「チャレンジ大和田」に来て、印象が変わったり新しく発見したことなど

- ・(駅前の)ムードが一変したので、子育て世代の人がもっと集まってほしい。・子どもが遊んでいる声がいい。
- ・北側にもイベント(キッチンカーなど)があるといい。・(南側の)芝生エリアをもっと活かしたい。
- ・初めて来て、便利そうな場所だと思った。・思ったより活気がある。・ほのぼのした雰囲気がいいと思った。
- ・駅前に広場があると楽しい。・学生が滞留しやすい場所がほしい。・子どもが遊べる施設を増やしてほしい。



モニュメントボードに寄せられた意見

公園がほしい！

- ・きれいな公園
- ・遊具のある公園
- ・楽しい公園
- ・子供たちが走り回っても安全な公園
- ・ボール遊びができる大きな公園
- ・緑と花がいっぱいの自然あふれる公園

イベントがしたい！

- ・世代問わずにぎわえるイベント
- ・若い人が行きたくなるイベント
- ・盆踊り
- ・イルミネーション
- ・ふれあい動物園
- ・朝ヨガ
- ・バザー
- ・音楽イベント
- ・イベントをたくさんしてほしい

ほかにも...

道路を広くしてほしい！ カフェがほしい！ 大きな屋根がほしい！

モニュメントがほしい！ ステージがほしい！

いろんなお店や施設がほしい！

のんびりできる場所になってほしい！

どの世代も集える場所になってほしい！

地元有志事前ミーティングメンバーの声

後日アンケートの抜粋を記載させていただきます

● 出店に係る集計結果 ●

2日間の出店数

51 店舗

(2日間の延べ数)

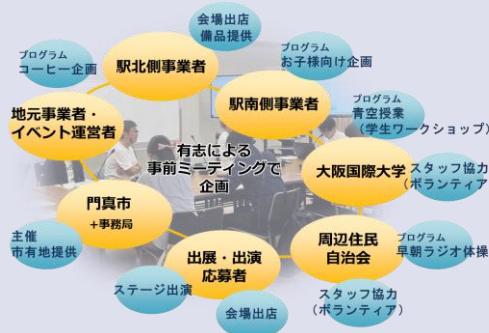
2日間の売上高

約 **180** 万円以上

(各出店者報告による集計)

〈まとめ〉

- ・大和田駅周辺の様々な組織が連携し、企画や当日の運営に協力。これまでにない規模での連携イベントとなった。
- ・実際にやってみた感想や、今後の連携のあり方・必要性などを検証するため、主要メンバーにアンケートを実施予定。



組織

交流

滞留

安全

- ・南側の滞留空間は、普段よりも滞留ファニチャーを多く配置した。(スツール、クッション、ハンモック、こたつテーブル、子供向けマット+おもちゃ)
- ・その結果、子供～大人まで多くの方の滞留が確認できた。2日間で多い時間帯では66人が同時に芝生上に滞留した。
- ・対して北側の滞留空間は、南側と同様の人口芝+ファニチャーを設置したものの、利用はかなり少なかった。原因としては、通行する人は多いものの、今回実験に利用した用地があまり大きくないことや、他に何かをしている人がいないために、気軽に使える雰囲気演出が難しかったことなどが考えられる。今後は、よりまとまった広さを確保した上で、コンテンツの集積をする必要がある。

- ・イベント中は常時、信号のない横断歩道に交通誘導警備員および、人工芝上の子供の見守りスタッフを配置した。横断歩道を行き来する人はかなり多かった。
- ・南口会場の既存人工芝のスペースは、子供が非常に多く利用し、アンケートでも、歩道や車道に隣接するため、交通安全性を不安に感じる意見があった。今回のような規模のイベントをする場合は、広場の内部の安全なスペースで子供の遊ぶ空間を確保するか、警備員を配置する等の対策が必要であることが明らかになった。

